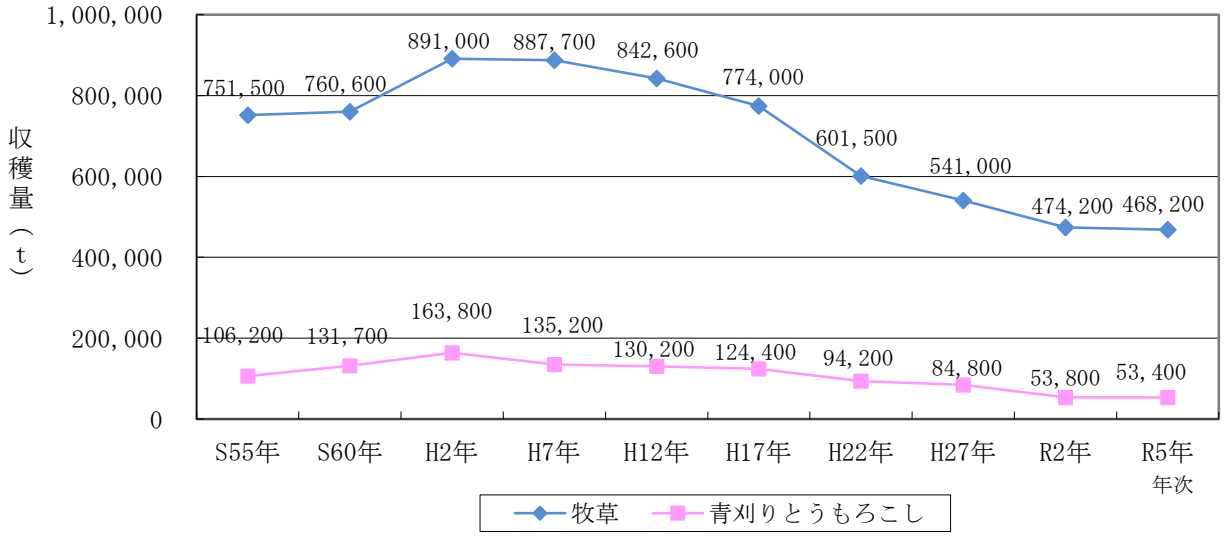
第６章　草地と飼料

１　自給飼料の生産

（１）飼料作物の収穫量

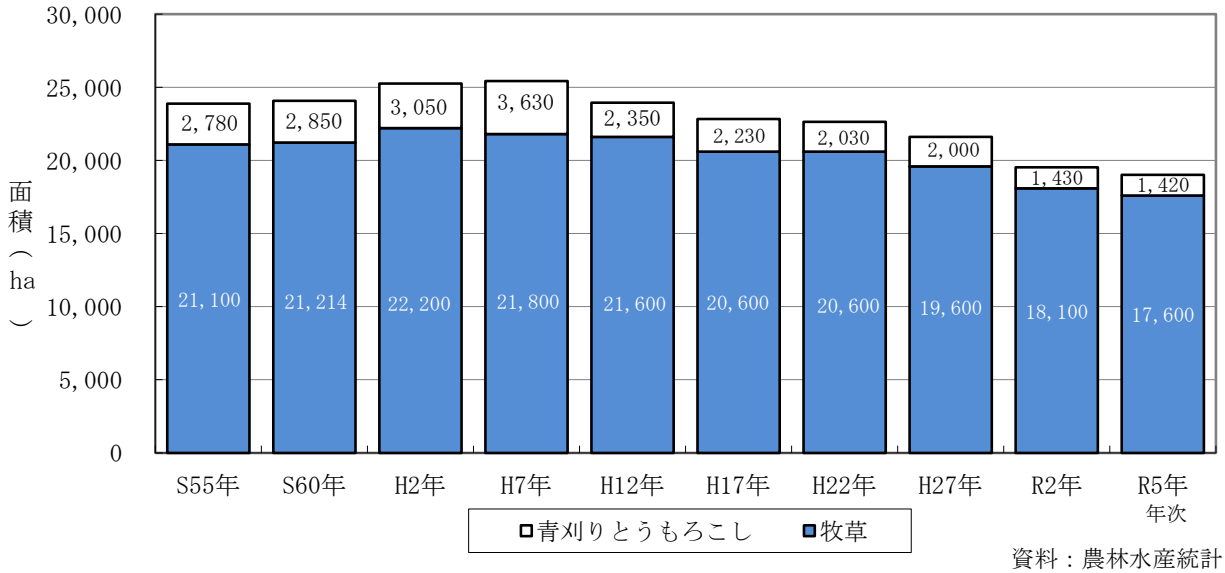
令和５年の飼料作物の収穫量は、令和２年に比べて牧草が1.3%減の468,200t、青刈りとうもろこしが0.7%減の53,400ｔとなっている。



資料：農林水産統計

（２）飼料作物の作付面積

令和５年の作付面積は、令和２年に比べて牧草が2.8%減の17,600ha、青刈りとうもろこしが0.7%減の1,420haとなっている。



資料：農林水産統計

2　草地面積

（１）事業別草地造成・整備面積（昭和36年～令和５年）

（単位：ha、％）

事 業 名	面 積	割 合
団体営草地開発整備事業	4,187.28	22.0
小規模草地改良事業	3,210.90	16.8
県営草地開発事業	2,177.35	11.4
畜産基地建設事業	1,410.20	7.4
小規模草地開発整備事業	1,245.61	6.5
畜産担い手育成総合整備事業	1,206.41	6.3
自給飼料生産総合振興対策事業	977.00	5.1
飼料基盤整備事業	922.50	4.8
地域畜産総合対策事業	655.41	3.4
緊急飼料生産向上特別対策事業	474.40	2.5
共同利用模範牧場設置事業	442.80	2.3
農業公社牧場設置事業	431.41	2.3
集約牧野造成事業	368.00	1.9
林野活用畜産環境総合整備モデル事業	282.35	1.5
自給飼料生産向上特別対策事業	275.60	1.4
改良牧野造成改良事業	188.00	1.0
公共育成牧場整備事業	179.32	0.9
県営公共牧場整備事業	130.76	0.7
公共牧場機能強化事業	90.74	0.5
強い農業づくり交付金飼料基盤活用の促進	25.00	0.1
草地畜産基盤整備事業	174.87	0.9
合　計	19,055.91	100.0

資料：県畜産課調査

（２）公共牧場数と放牧頭数（令和５年７月１日現在）

（単位：か所、ha、頭）

地域名	牧場数	面 積		放牧頭数			
			うち牧草地	計	乳用牛	肉用牛	馬･羊等
東青	12	1,212	506	107	0	107	0
中南	3	172	56	9	0	9	0
三八	12	2,335	1,033	678	1	677	0
西北	13	1,168	582	237	0	237	0
上北	25	5,340	2,403	1,657	338	1,319	0
下北	22	2,908	1,308	290	0	273	17
合計	87	13,135	5,888	2,978	339	2,622	17

※端数処理のため合計面積が合わない場合がある　　資料：県畜産課調査

（３）水田転作による飼料作物作付面積

（単位：ha、％）

区 分	H22年	H27年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
転作作物面積 ①	22,843	31,627	30,688	28,512	28,362	30,042	34,119	33,754	33,279
飼料作物面積 ②	5,413	12,496	11,852	10,841	10,185	9,882	12,547	14,400	12,871
割合 ②/①	23.7	39.5	38.6	38.0	35.9	32.9	36.8	42.7	38.7

※飼料用米含む　　資料：経営所得安定対策等の手引き

3　配合飼料の生産

（1）用途別入荷量

令和５年度の本県への用途別入荷量は約91万1千トンで、前年度に比べて９%の減となった。

（単位：t、%）

区分	養鶏用			養豚用			牛用		その他	配合・混合飼料	
	育すう	成　鶏	ブロイラー	子　豚	肉　豚	種　豚	乳牛用	肉牛用	家畜用	合計	うち配合飼料
S55年度	32,682	186,744	81,558	95,783	33,521	23,657	26,710	64,051	1,154	545,860	512,877
60年度	36,937	228,050	107,481	146,692	34,176	42,909	36,199	103,598	3,346	739,388	718,852
H2年度	39,968	253,177	183,397	233,344	85,149	58,587	44,646	138,039	6,215	1,042,522	1,016,583
7年度	38,346	233,150	188,993	199,422	79,536	53,331	44,352	143,301	10,433	1,005,847	990,864
12年度	34,550	213,943	204,191	162,640	99,296	49,834	56,629	133,954	3,335	970,119	958,372
17年度	34,032	216,257	250,450	142,071	124,349	40,324	55,075	134,106	278	998,274	996,941
22年度	36,987	214,483	249,129	108,738	142,915	45,552	44,926	141,728	64	1,030,026	1,026,555
27年度	39,030	258,767	242,405	94,102	139,733	49,034	36,288	143,848	49	1,041,687	1,041,204
前年度比	102	101	108	90	93	92	96	102	3	99	99
R3年度	33,190	256,066	242,707	82,604	160,348	47,694	42,052	115,268	3,443	1,018,058	1,015,785
前年度比	85	99	100	88	115	97	116	80	7,027	98	98
R4年度	29,595	238,173	235,494	82,355	164,846	46,038	42,521	122,287	3,424	999,770	997,472
前年度比	89	93	97	100	103	97	101	106	99	98	98
R5年度	32,842	193,842	188,321	82,481	168,990	43,194	40,769	124,045	2,224	910,723	908,173
前年度比	111	81	80	100	103	94	96	101	65	91	91

資料：飼料月報

（2）用途別生産量

令和５年度の用途別生産量は約197万2千トンで、前年度に比べ1%の減となった。

（単位：t、%）

区分	養鶏用			養豚用			牛用		その他	配合・混合飼料	
	育すう	成　鶏	ブロイラー	子　豚	肉　豚	種　豚	乳牛用	肉牛用	家畜用	合計	うち配合飼料
S60年度	37,786	233,779	287,450	166,203	50,542	46,486	33,182	100,756	3,338	959,522	959,522
H2年度	51,022	306,290	433,446	291,848	120,048	80,641	68,564	168,681	10,293	1,530,833	1,530,833
7年度	46,329	311,027	447,485	250,820	111,773	69,574	48,793	140,946	10,496	1,437,243	1,437,243
12年度	52,923	381,432	523,579	171,904	145,867	74,410	51,070	133,387	2,662	1,615,609	1,595,867
17年度	53,334	369,661	598,559	168,046	187,447	90,890	60,514	115,829	445	1,714,420	1,710,511
22年度	56,969	338,738	636,562	168,587	221,140	86,279	60,914	159,337	363	1,791,923	1,789,322
27年度	63,910	399,357	717,800	155,747	240,944	87,113	71,901	195,428	312	1,992,155	1,991,687
前年度比	94	97	101	89	94	98	98	90	23	96	96
R3年度	58,386	403,085	742,552	140,068	257,686	93,300	77,735	178,101	3,740	2,014,183	2,013,306
前年度比	91	101	103	90	107	107	108	91	1,199	101	101
R4年度	55,694	384,656	735,485	144,932	261,936	90,584	78,909	180,366	3,569	1,995,384	1,994,621
前年度比	95	95	99	103	102	97	102	101	95	99	99
R5年度	56,166	366,699	735,239	144,084	268,640	87,787	75,616	174,919	2,258	1,971,595	1,971,043
前年度比	101	95	100	99	103	97	96	97	63	99	99

資料：飼料月報

4　青森県飼料作物奨励品種

令和７年２月現在

（１）牧草

草種	品種名	早晩性	品種特性等	指定年次
イネ科牧草				
オーチャードグラス	アキミドリⅡ	極早生種	採草放牧兼用（高標高地を除く）。	平成１４年
	まきばゆうか	極早生種	越夏性、耐病性に優れる。採草放牧兼用。	令和　７年
	はるねみどり	早生種	１番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成２３年
	まきばたろう	中生種	夏期の生育が旺盛。採草放牧兼用。	平成２３年
	きよは	中生種	越夏性、耐病性に優れる。採草放牧兼用。	令和　７年
	ハルジマン	晩生種	１番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成１８年
	バッカス	晩生種	１番草の収量が多い。採草放牧兼用。	平成２６年
	えさじまん	晩生種	越冬性及び永続性に優れる。	令和　４年
チモシー	クンプウ	極早生種	秋の生育良好。採草用。	昭和６１年
	ユウセイ	極早生種	収量が多く、耐倒伏性に優れる。採草用。	平成２６年
	ノサップ	早生種	再生力が旺盛で収量が多い。採草用。	平成　５年
	マオイ	早生種	収量が多く、越冬性及び越夏性に優れる。採草用。	令和　５年
	クライマックス	中生種	葉長、葉幅が大きい。採草用。	昭和４４年
	アッケシ	中生種	斑点病抵抗性が強い。採草用。	平成１１年
	アルテミス	中生種	草丈が高く、収量が多い。採草用。	平成３０年
	ヘリオス	中生種	収量が多い。採草用。	平成３０年
	なつぴりか	中生種	収量が多く、越夏性に優れる。採草用。	令和　６年
	キリタップ	晩生種	耐倒伏性に優れる。採草用。	平成１１年
イタリアンライグラス	ナガハヒカリ	中生種	耐雪性が極めて強い。採草用。	平成　８年
ペレニアルライグラス	ヤツカゼ２	中生種	早春早期利用に適し、夏期の生育が旺盛。採草放牧兼用。	平成２３年
	フレンド	晩生種	耐雪性が強い。採草放牧兼用。	昭和５０年
	夏ごしペレ	晩生種	越夏性及び永続性に優れる。採草放牧兼用。	令和　４年
メドウフェスク	まきばさかえ	早生種	越冬性に優れ、早春の生育が良好。放牧用。	平成２８年
フェストロリウム	那系１号	早生種	収量が多く、永続性に優れる。採草用。	平成３１年
	東北１号	中生種	収量が多く、永続性に優れる。採草用。	平成２６年
ケンタッキーブルーグラス	ラトー	早生種	収量が多く、越冬性、耐病性に優れる。放牧用。	平成２６年
リードカナリーグラス	パラトン	早生種	草生密度が高く、雑草の侵入が少ない。刈遅れにより嗜好性が低下するため、1番草は出穂期までに刈り取る。	平成２０年
マメ科牧草				
アカクローバ	ナツユウ	早生種	オーチャードグラスの晩生品種、チモシーの極早生・早生品種との混播に適する。	平成２５年
	リョクユウ	早生種	オーチャードグラスの晩生品種との混播に適し、永続性に優れる。	平成２８年
シロクローバ	フィア	早生種	葉は密生し、再生力に優れる。放牧用。	昭和４４年
	マキバシロ	早生種	イネ科との混播適性が高い。	平成　５年
アルファルファ	ケレス	早生種	耐病性、永続性に優れる。採草用。	平成２６年
	ウシモスキー	早生種	収量が多く、耐病性、永続性に優れる。採草用。	平成３０年

（２）サイレージ用とうもろこし

品種名（系統名）	早晩性	適当な栽植密度	品種特性等	指定年次
ゴールドデントKD421	極早生種	8,000本/10a	収量が多く、耐倒伏・折損性に優れる。	令和　５年
ゴールドデントKD090カリス	極早生種	8,000本/10a	雌穂割合が高く、収量が多い。	令和　５年
Z-corn950α（ZX9595）	極早生種	8,000本/10a	長稈で収量が多く、紋枯病に強い。	令和　５年
パイオニア100日（P9400）	早生種	7,000本/10a	長稈で収量が多く、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成２７年
パイオニア106日（36B08）	早生種	7,000本/10a	短稈で収量が多く、耐病性に優れる。	平成１５年
LG3490（旧：スノーデント108）	早生種	7,000本/10a	長稈で収量が多く、紋枯病に強い。	平成２３年
パイオニア108日（34N84）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐倒伏性に優れる。	平成２３年
北交65号（北交65号）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐病性に優れる。	平成２６年
スノーデント110（LG30500）	早生種	7,000本/10a	長稈で、耐倒伏性に優れる。	令和　４年
パイオニア110日（P1204）	早生種	7,000本/10a	収量が多く、耐倒伏性に優れ、紋枯病に強い。	令和　７年
パイオニア118日（P2088）	中生種	6,000本/10a	長稈で収量が多く、耐病性に優れる。	平成２８年
スノーデント115（LG31.588）	中生種	6,000本/10a	雌穂割合が高く、収量が多く、耐倒伏性に優れる。	令和　７年
クミアイデント118N（GN1645）	晩生種	6,000本/10a	安定した収量で、耐病性、耐倒伏性に優れる。	平成１９年
サイレージコーンNS125スーパー	晩生種	6,000本/10a	収量が多く、耐倒伏性に優れる。	令和　７年

（３）その他飼料作物

草種	品種名	早晩性	品種特性等	指定年次
エン麦	前進	中生種	短稈で、子実が多い。サイレージ用。	昭和４４年
	アムリⅡ	中生種	耐倒伏性に優れる。サイレージ用。	平成１８年
	ニューオールマイティー	中生種	耐倒伏性に優れる。サイレージ用。	平成１８年
ライ麦	春香	晩生種	収量が多く、耐倒伏性に優れる。	平成２３年
飼料用稲	えみゆたか	早生種	冷涼地帯で玄米収量が多く、いもち病抵抗性に優れる。飼料用米向け品種。	平成２８年
	ゆたかまる	中生種	玄米収量が多く、耐倒伏性及びいもち病抵抗性は極めて強い。飼料用米向け品種。	令和　２年
	あおばまる	中生種	長稈で収量が多く、耐冷性が極めて強い。ＷＣＳ向け品種。	令和　３年

第７章　家畜衛生

１　家畜防疫事業の推移

家畜伝染病、届出伝染病を中心とした家畜疾病の検査等を計画どおり実施した。

（単位：頭、羽、群）

事業区分			H6年度	12年度	17年度	22年度	30年度	R2年度	3年度	4年度	5年度
検査事業	牛	ブルセラ症	11,625	3,819	5,825	3,486	1,488	2,498	77	9	6
		結核	11,674	3,910	6,112	3,574	1,578	2,559	88	7	6
		ヨーネ病	1,656	7,150	9,046	7,704	11,463	11,896	13,385	14,128	11,066
		アカバネ病	1,529	1,026	540	489	490	485	490	464	229
		牛伝染性リンパ腫	1,034	617	500	530	1,768	2,097	1,792	1,844	1,707
		牛伝染性疾病	90,303	87,534	70,913	65,722	85,499	85,982	84,060	86,645	85,939
	馬	馬伝染性貧血	2,992	1,585	1,309	823	－	－	－	－	－
		馬伝染性子宮炎	652	496	385	266	－	－	－	－	－
		馬パラチフス	1,035	602	450	210	27	48	68	93	29
		馬鼻肺炎	447	300	230	209	21	20	25	30	10
	豚	豚オーエスキー病	4,359	4,612	4,220	4,961	790	740	701	725	690
		豚熱	－	－	－	520	450	1,350	1,808	1,889	1,605
		豚伝染性疾病	264,869	192,128	184,434	172,084	191,078	196,306	194,286	190,350	188,356
	家きん	ニューカッスル病（一般）	6,340	5,110	4,977	4,935	2,100	2,100	2,100	1,960	2,100
		ニューカッスル病（種鶏）	3,006	2,500	2,880	2,350	2,300	2,300	1,300	1,050	1,100
		家きんサルモネラ症（種鶏）	8,000	6,500	4,807	3,950	2,300	2,300	2,100	2,100	2,100
		マイコプラズマ症（種鶏）	8,200	6,500	5,004	3,850	2,300	2,300	1,300	1,050	1,100
		家きん伝染性疾病	370,730	288,997	304,995	439,510	377,663	421,353	373,603	364,874	333,606
	蜂	腐蛆病	10,444	10,293	9,957	9,077	7,878	7,187	7,329	7,238	7,107
自衛防疫注射事業	牛	牛伝染性鼻気管炎（混合ワクチンを含む）	5,694	7,349	8,172	9,053	12,625	10,785	10,283	10,370	9,979
		アカバネ病	9,569	9,323	8,430	8,015	7,226	6,815	5,982	5,798	5,437
		気腫疽	16,820	12,956	12,072	－	－	－	－	－	－
		牛クロストリジウム（混合）	－	－	－	8,569	6,574	5,850	5,169	4,882	4,430
		炭疽	0	8	27	－	－	－	－	－	－
	馬	馬インフルエンザ（混合ワクチンを含む）	1,492	234	204	710	583	616	650	694	573
		馬鼻肺炎	442	285	156	187	268	262	231	199	245
	豚	豚丹毒	11,790	508,262	455,122	170,852	42,807	48,988	43,056	38,139	35,394
		豚パルボウィルス	1,699	23	0	47	－	－	－	－	－
		豚流行性脳炎・豚パルボウィルス混合	1,659	1,101	704	280	200	200	340	260	250
		豚流行性脳炎	11,208	2,987	2,839	1,550	393	477	400	430	460
	鶏	ニューカッスル病	64,790	52,290	63,090	93,000	66,000	59,000	59,000	－	－
		ニューカッスル病（伝染性気管支炎混合を含む）	13,000	36,000	39,000	64,000	56,000	62,000	60,000	95,000	95,000

資料：県畜産課調査

2　監視伝染病発生状況

牛のヨーネ病、牛伝染性リンパ腫及び豚丹毒の発生が引き続きみられている。

（単位：頭、羽、群）

区　分		年次											
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
家畜伝染病(法第2条)	ヨーネ病	38	25	5	25	2	1	5	14	9	10	4	5
	結核												
	高病原性鳥インフルエンザ				14					10	12	2	
	腐蛆病								14				
届出伝染病(法第4条)	牛伝染性リンパ腫	29	44	42	42	60	73	70	68	87	74	72	56
	破傷風（牛）							1	2			3	
	サルモネラ症・牛			2	1	2		12		3	3	3	5
	牛ウイルス性下痢												2
	サルモネラ症・豚	4											
	サルモネラ症・鶏									3			
	馬鼻肺炎						1						
	豚流行性下痢		202	15	19								
	豚丹毒	9	67	37	39	33	11	9	5	8	8	27	22
	鶏痘					2				2			
	鶏伝染性気管支炎								5	4		18	
	鶏伝染性喉頭気管炎											8	
	ロイコチトゾーン症	16											
	バロア病					80		1					
	アカリンダニ病						1						

資料：県畜産課調査

第８章　環境保全

環境汚染発生状況

（１）環境汚染の種類別発生件数

令和５年度の畜産環境汚染の発生は10件で、前年より減少

（単位：件）

区　分	H17年度	H22年度	H27年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
悪臭発生	7	7	7	6	5	4	4	6	5
水質汚濁	4	6	1	6	2	2	2	5	1
害虫発生		1					1	1	1
水質・悪臭		2	2	3	2	1			
悪臭・害虫	2	2			1	1	3		1
その他								3	2
計	13	18	10	15	10	8	10	15	10

※調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日　　資料：県畜産課調査

（２）畜種別発生件数

①　畜種別合計

（単位：件）

区　分	H17年度	H22年度	H27年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
豚	7	8	5	5		1	1	4	2
乳用牛	1	3		2	2	3	1		1
肉用牛	1	9	5	9	8	4	5	10	5
採卵鶏	2	1	1		1	1		1	
ブロイラー	2			1					
その他（馬・めん羊など）						1	3		2
計	13	21	11	17	11	10	10	15	10

※調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日　　資料：県畜産課調査

②　飼養規模別件数（畜種別合計の令和５年度内訳）

（単位：件）

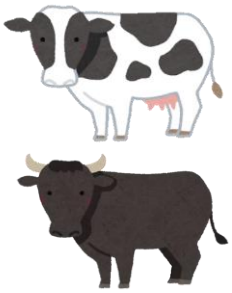
区　分		水質汚濁	悪臭	害虫	水質･悪臭	水質･害虫	悪臭･害虫	その他	計
豚	1～99頭								0
	100～999頭								0
	1,000～1,999頭		1					1	2
	2,000～2,999頭								0
	3,000頭～								0
採卵鶏	1～1,999羽								0
	2,000～9,999羽								0
	10,000～49,999羽								0
	50,000～99,999羽								0
	100,000羽～								0
ブロイラー	1～1,999羽								0
	2,000～99,999羽								0
	100,000～299,999羽								0
	300,000～499,999羽								0
	500,000羽～								0
乳用牛	1～9頭								0
	10～29頭								0
	30～99頭								0
	100～299頭								0
	300頭～		1						1
肉用牛	1～9頭								0
	10～19頭								0
	20～99頭		2				1	1	4
	100～499頭								0
	500頭～	1							1
その他			1	1					2
計		1	5	1	0	0	1	2	10

資料：県畜産課調査

第９章　参考資料

１　青森県酪農
・肉用牛生産近代化計画の目標（令和３年３月）

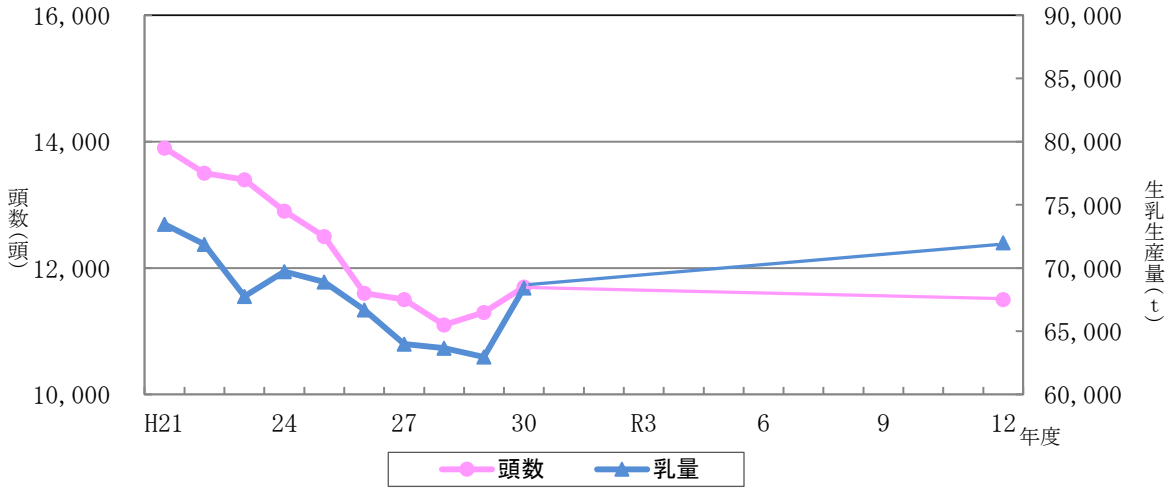
（１）生乳の生産数量及び乳牛の飼養頭数の目標



（単位：頭、kg、t）

区分	総頭数（頭）	成牛頭数（頭）	経産牛頭数（頭）	経産牛１頭当たり年間搾乳量（kg）	生乳生産量（ｔ）
現　在（H30年度）	11,700	8,520	8,290	8,370	68,430
目　標（R12年度）	11,500	8,390	8,200	8,780	72,000

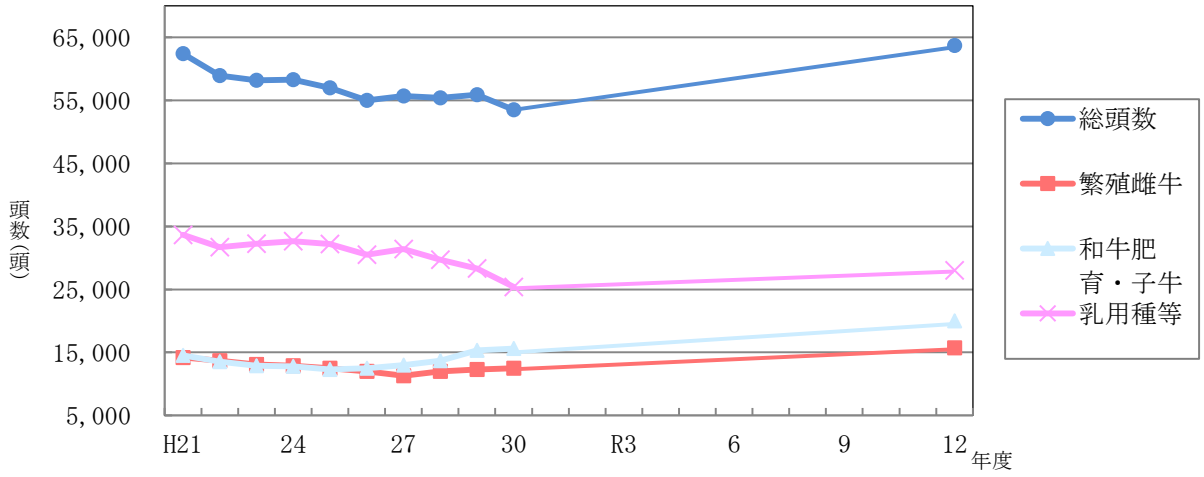
（注）成牛とは、24ヵ月齢以上のものをいう。



（２）肉用牛の飼養頭数の目標

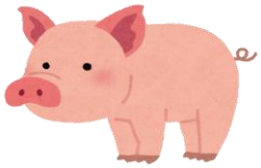
（単位：頭）

区分	肉用牛総頭数	肉専用種 合計	肉専用種 繁殖雌牛（育成牛含む）	肉専用種 肥育牛	肉専用種 その他	乳用種等 合計	乳用種等 乳用種	乳用種等 交雑種
現在（H30年度）	53,500	28,100	12,500	10,900	4,700	25,400	15,200	10,200
目標（R12年度）	63,700	35,700	15,700	13,100	6,900	28,000	12,000	16,000



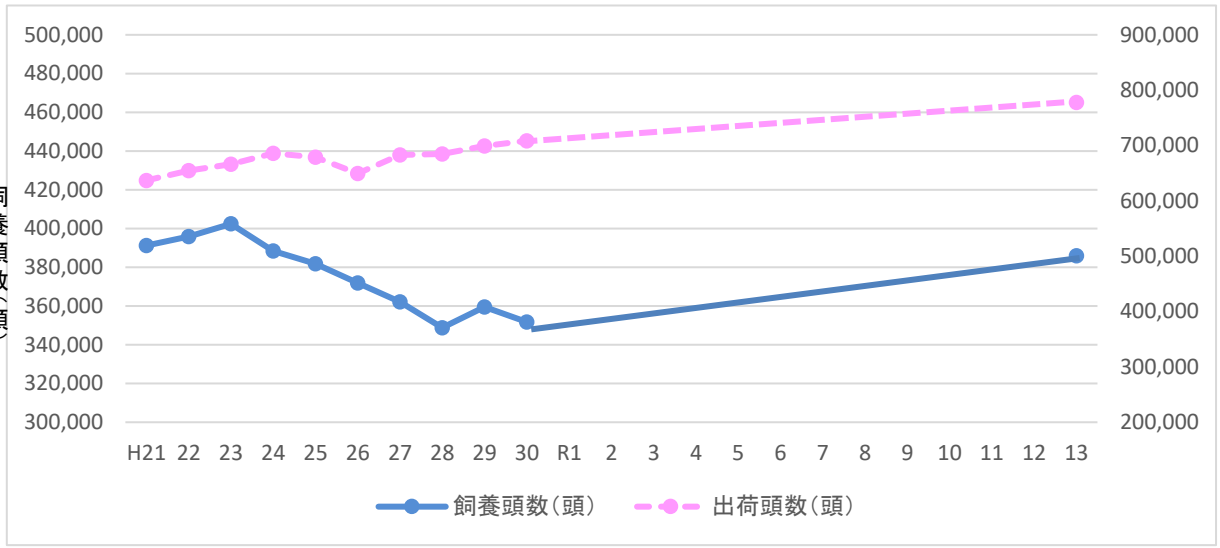
2　青森県養豚・養鶏振興プランの目標（令和４年３月）

（１）豚の飼養頭数の目標



区　分	飼養頭数（頭）	出荷頭数（頭）
現　在 (H30年度)	351, 800	708, 668
目　標 (R13年度)	386, 000	778, 000

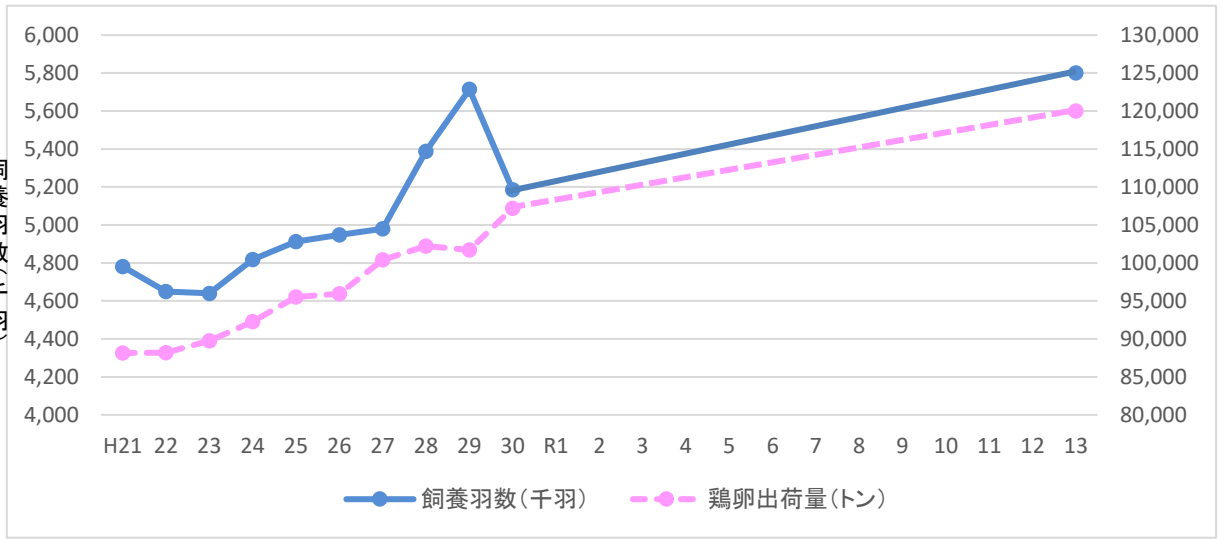
（注）出荷頭数は畜産課調査。



（２）採卵鶏の飼養羽数の目標

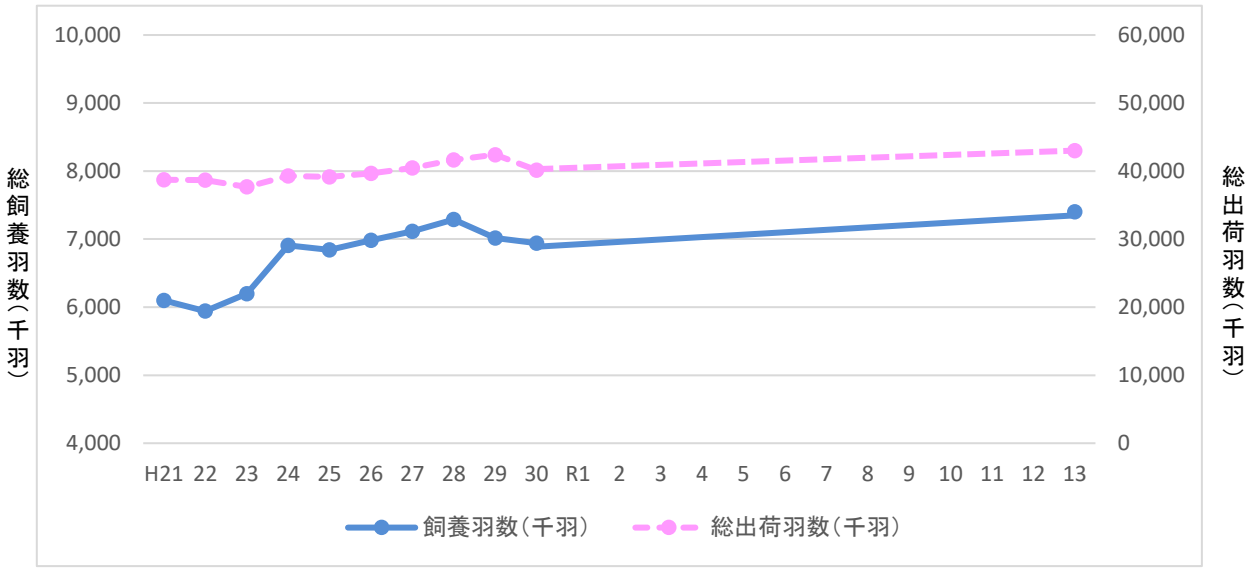
区　分	飼養羽数（千羽）	鶏卵出荷量（千トン）
現　在 (H30年度)	5, 186	107
目　標 (R13年度)	5, 800	120

（注）1. 飼養頭数は成鶏めす（６か月以上）の数
　　2. 22年度の飼養頭数は調査未実施のため、前後年の平均値で示した。



（３）ブロイラーの飼養羽数の目標

区　分	飼養羽数 （千羽）	総出荷羽数 （千羽）
現　在 （H30年度）	6, 943	40, 137
目　標 （R13年度）	7, 400	43, 000



3　畜産行政組織の概要

（令和7年4月1日現在）

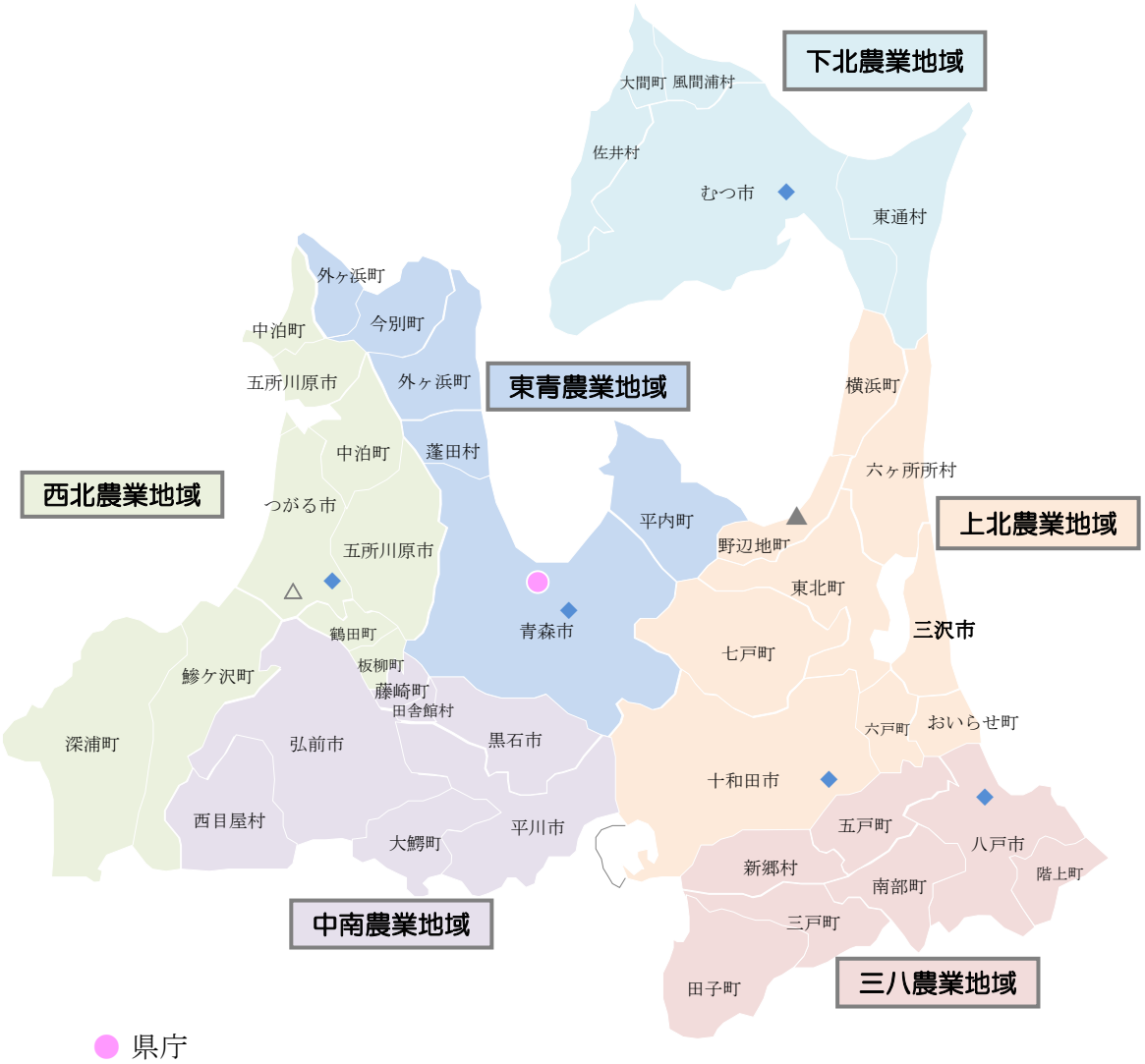
	電話番号	FAX	郵便番号	住　所
農林水産部				
畜産課				
企画管理グループ	017-734-9495	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
経営支援グループ	017-734-9496			
衛生・安全グループ	017-734-9498			
飼料環境グループ	017-734-9497			
三八農林水産事務所 八戸家畜保健衛生所				
衛生指導課	0178-27-7415	27-7418	039-1101	八戸市尻内町毛合清水7-2
防疫課				
畜産振興課				
西北農林水産事務所 つがる広域家畜保健衛生所				
衛生指導課	0173-42-2276	42-6087	038-3151	つがる市木造若竹2-1
防疫課				
畜産振興課				
上北農林水産事務所 中央家畜保健衛生所				
衛生指導課	0176-23-6235	23-3044	034-0093	十和田市西十二番町19-23
防疫課				
畜産振興課	0176-23-5115			
病性鑑定課 （青森市）	017-764-1744	728-0335	030-0134	青森市大字合子沢字松森395-26
下北農林水産事務所 むつ家畜保健衛生所				
防疫・衛生指導課	0175-22-1254	22-1259	035-0072	むつ市金谷二丁目18-25
畜産振興課				

4　試験研究機関

地方独立行政法人青森県産業技術センター

	電話番号	FAX	郵便番号	住所
畜産研究所				
繁殖技術肉牛部				
中小家畜・シャモロック部	0175-64-2231	64-2230	039-3156	野辺地町枇杷野51
酪農飼料環境部				
和牛改良技術部	0173-26-3153	26-3205	038-2816	つがる市森田町森田月見野558

5　行政区域・各機関所在地



● 県庁
◆ 家畜保健衛生所
▲ 畜産研究所
△ 畜産研究所　和牛改良技術部

6　畜産関係機関・団体

（令和7年3月31日現在）

	名称	郵便番号	住所	電話番号	ＦＡＸ
協会等	一般社団法人青森県畜産協会	030-0822	青森市中央2-1-15	017-723-2523	731-1196
	公益社団法人青森県獣医師会	030-0813	青森市松原2-8-2	017-722-5989	722-6010
	公益社団法人青森県獣医師会 食鳥検査センター	034-0001	十和田市大字三本木字野崎1-50	0176-58-0192	58-0193
	青森県養鶏協会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8799	752-8191
	一般社団法人青森県養豚協会	030-0813	青森市松原3-8-5	017-752-1027	777-1590
	青森県酪農協会	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1 JAゆうき青森らくのう営農ｾﾝﾀｰ内	0175-64-3241	64-3244
	青森県飲用牛乳協会	036-8071	弘前市大久保西田364 萩原乳業株式会社内	0172-32-1451	32-8726
	青森県家畜人工授精師協会	030-0847	青森市東大野2-1-15 全農青森県本部畜産酪農課内	017-729-8650	762-1082
	一般社団法人青森県配合飼料 価格安定基金協会	030-0812	青森市堤町1-2-21 青森県食糧会館３階	017-777-6543	775-5354
	青森県牛乳普及協会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8631	762-1082
	一般社団法人日本短角種登録協会 青森県支部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	公益社団法人全国和牛登録協会 青森県支部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	東北軽種馬協会	039-0814	三戸郡南部町坪渡字鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
	一般社団法人青森県畜産・飼料 コンビナート振興協会	039-1164	八戸市下長2-2-24 下長第4オフィス2階7号室	0178-51-8868	51-8876
農協等	全国農業協同組合連合会 青森県本部	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8650	762-1082
	JA全農あおもり畜産酪農部 畜産酪農課牛乳冷却処理所	039-2664	上北郡東北町乙供63-239	0175-63-3551	65-5006
	青森県畜産農業協同組合連合会	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	ゆうき青森農業協同組合 らくのう営農センター	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1	0175-64-3241	64-3244
	青森県農業共済組合	030-0802	青森市本町5-5-21	017-775-1161	775-1170
	青森県軽種馬生産農業協同組合	039-0814	三戸郡南部町坪渡字鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
その他	公益社団法人あおもり農業 支援センター	030-0801	青森市新町2-4-1 県共同ビル6階	017-773-3131	734-1738
	青森県食肉事業協同組合	030-0113	青森市第二問屋町3-5-25 株式会社いしおか内	017-729-8078	050- 1197-8559
	青森県養蜂協会	030-0822	青森市中央2-1-15 （一社）青森県畜産協会内	017-723-2523	731-1196
	青森シャモロック生産者協会	039-1512	三戸郡五戸町字西ノ沢6-1 株式会社グローバルフィールド内	0178-61-1511	61-1512
	一般社団法人青森県農業会議	030-0802	青森市本町2-6-19 青森県土地改良会館４階	017-774-8580	774-8588

7　畜産関係施設

	名称	郵便番号	住所	電話番号	ＦＡＸ
家畜市場	青森県家畜市場 （青森県畜産農業協同組合連合会）	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	八戸産地家畜市場 （八戸畜産農業協同組合）	039-0814	三戸郡南部町坪渡鮫ノ口8-13	0178-84-4448	84-4449
	三本木産地家畜市場 （三本木畜産農業協同組合）	034-0001	十和田市三本木野崎40-433	0176-23-3581	23-5040
	八戸サラブレッド家畜市場 （青森県軽種馬生産農業協同組合）	039-0814	三戸郡南部町坪渡鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
食肉センター	三沢市食肉処理センター	033-0022	三沢市三沢淋代平116-3101	0176-59-3567	59-2865
	スターゼンミートプロセッサー㈱ 青森工場三戸ビーフセンター	039-0122	三戸郡三戸町斗内中堤9-9	0179-25-2233	25-2234
	ＩＨミートパッカー株式会社 十和田ミートプラント	034-0001	十和田市三本木野崎1	0176-23-7321	23-7324
	日本フードパッカー株式会社 青森工場	039-2206	上北郡おいらせ町松原2-132-1	0178-52-3181	52-6855
	ＡＴＯ食肉センター	038-1141	南津軽郡田舎館村川部富岡1-1	0172-58-4683	55-6726
	ＩＨミートパッカー株式会社 十和田ビーフプラント	034-0041	十和田市相坂六日町山155	0176-58-5232	58-5233
主な乳業工場	萩原乳業株式会社	036-8071	弘前市大久保西田364	0172-32-1451	32-8726
	一般財団法人新郷村 ふるさと活性化公社	039-1801	三戸郡新郷村戸来雨池11-2	0178-78-2511	78-2522
	有限会社斗南丘牧場	035-0021	むつ市田名部内田42-606	0175-28-2888	28-2889
	一般財団法人十和田湖 ふるさと活性化公社	034-0301	十和田市奥瀬堰道39-1	0176-72-3201	72-3204

８　県内の特徴的な動き（令和６年度）

（１）自給飼料の増産と耕畜連携体制の強化に向けた取組

県では、自給飼料増産に向けて、ライムギと青刈りとうもろこしの二毛作栽培や公共牧場における飼料供給体制の実証を行うほか、敷料の安定確保のため、津軽と県南地域におけるもみ殻の広域流通体制の強化に取り組んでいます。

二毛作のほ場（ライムギ）

もみ殻ストックヤードの実証

（２）獣医師確保対策

令和3年3月に改訂した「青森県獣医師職員確保プラン」に基づき、将来にわたり県獣医師職員を安定的に確保するため、協定締結校である北里大学との連携強化を進めるとともに、学生実習・インターンシップの受入や小中高校での出前講座、修学資金の給付などに取り組んでいます。

人材育成に関する協定締結

学生実習の受入

（３）肉用牛生産者との意見交換会の開催

令和６年７月９日に、”若い力で切り拓く牛飼いの挑戦～心一つに全国に誇れる肉用牛生産！～″をテーマに、県内の若手肉用牛生産者９名と知事との県民対話集会（＃あおばな）を開催し、経営の中で力を入れている取組や課題解決のための提案など、本県の今後の肉用牛振興策につながる活発な意見交換が行われました。

参加者の皆さんと

意見交換風景

（４）畜産業の担い手確保対策

農業高校生を対象にした家畜審査研修会の開催や畜産施設の実地研修、就農希望者等を対象にした畜産インターンシップの実施により、畜産業への理解醸成と体験機会の提供等により畜産業の担い手確保に取り組んでいます。

家畜審査研修会風景

畜産インターンシップ風景